



研究部会報告

● 待ち行列研究部会 ●

・第288回

日時：2020年6月20日（土）14:00～17:00

場所：オンライン開催

出席者：29名

テーマと講師、及び概要：

(1) 「ネット社会におけるエコーチェンバー効果のモデル化と対策」

会田雅樹（東京都立大学），橋爪絢子（法政大学）
本講演では，オンライン・ソーシャル・ネットワーク（OSN）上における情報の分極化がもたらすエ

コーチェンバー効果のモデル化とその対策法が紹介された。OSNのダイナミクスをネットワーク上の波動方程式によりモデル化を行い，さらに，分極化に伴ってOSN構造に完全グラフ形式の部分ネットワークが表れることを考慮することで，通常モデルの解と異なる，南部ゴールドストーンモードと呼ばれる新たなユーザダイナミクスが出現する様子が報告された。

(2) 「潜在トラヒックの推定及び推定値に基づくNW設計／制御」

石橋圭介，内田拓海（国際基督教大学）

本講演では，輻輳などの原因による通信の品質劣化時における，ユーザ通信行動の変化といった上位レイヤがもたらすネガティブ・フィードバックの背後にある「潜在トラヒック」に着目し，実データを用いたその解析方法が紹介された。また，得られた解析結果を用いて，潜在トラヒック需要を考慮した新しいネットワーク設計法の提案が行われた。